

除草剤適正使用キャンペーンについて

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

当協会では、水稲用除草剤の効果の安定と水田外への流出防止のため、散布前後の水管理の徹底を啓発する活動を行っています。

一般に、水稲用除草剤は、散布後有効成分が水中に溶け出し、水田水を介して水田土壌の表層に拡がって除草効果を発揮します。このため、散布後に止水し、水田外への成分の流出を防ぐことは、除草効果を安定させるととも

に環境への影響を小さくすることになり、特に散布後7日間落水、かけ流しをしないことが重要です。

この点について注意を促す内容のキャンペーン広告を、会員会社の協力を得て、水稲除草剤の散布時期に新聞に掲載するとともに、当協会ホームページでも紹介しています。こうした適正使用キャンペーンは、平成15年(2003年)から毎年継続して実施し、

現在に至っています。

キャンペーン広告では、かけ流しをさせないための水管理法として、当協会が推奨している「除草剤散布後水田水がなくなるまで給水しない止水管理」を平成24年(2012年)より紹介しています。これらの水管理法の詳細については、当協会ホームページ(<https://www.japr.or.jp/tekisei/>)をご覧ください。

2023年度 水稲除草剤適正使用キャンペーン

水稲用除草剤 《散布後7日間》は田んぼの水※を外に出さない

※「水田水」、「田んぼの水」は稲の栽培期間中に水田に張る田面水のこと。

薬剤成分の流出を防止し、安定した除草効果が得られます。

このキャンペーンに協力、推進しています。

アピログロウMX 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボSD 200SD000	セイタジャガー 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ
イサナキ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボSD 200SD000	セイタタイガー 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・300FG
イネリーグ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	セイタプラス 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・200FG
エンペラー 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 200SD200	ゼン47 MX 1キロ粒剤・ジャンボ
カウンスル エナジー 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	クワイク フロアブル
カウントダウン 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	デオール 1キロ粒剤/フロアブル/ジャンボ/顆粒/エアード剤
カラット 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 400FG	バサラン・エア-1+0
クワイク 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	バットZ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ
クワイク (赤色)	フルバグ-MX 1キロ粒剤・ジャンボ
サラブレードGO 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ・400FG	ホットコンビ フロアブル・ジャンボ・200
シタビ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ	ラオウ 1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

五十百原

ラベルをよく読み、適正に散布

7日間 かけ流しをしない

除草剤散布後、水田水※がなくなるまで給水しない止水管理を提案します

通常の水管理

田植前及び播種前の散布でも、散布後7日間は落水しない!

畦畔のひび、穴等を補修し、事前に水持ちを確認する!

水田水※がなくなったら、かけ流ししないように給水する。

詳細はHPへ! <https://www.japr.or.jp/>

2023年度キャンペーン協賛会社

- ISX 石原産業株式会社
- エスアイエスバイオテクノ 科研製薬株式会社
- KAKEN 協友アグリ株式会社
- クミアイ化学工業株式会社
- CORTEVA agriscience
- syngenta
- 住友化学
- 日産化学株式会社
- 日本農薬株式会社
- バイエル
- BASF We create chemistry
- 北興化学工業株式会社
- 三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

五十百原

公益財団法人日本植物調節剤研究協会